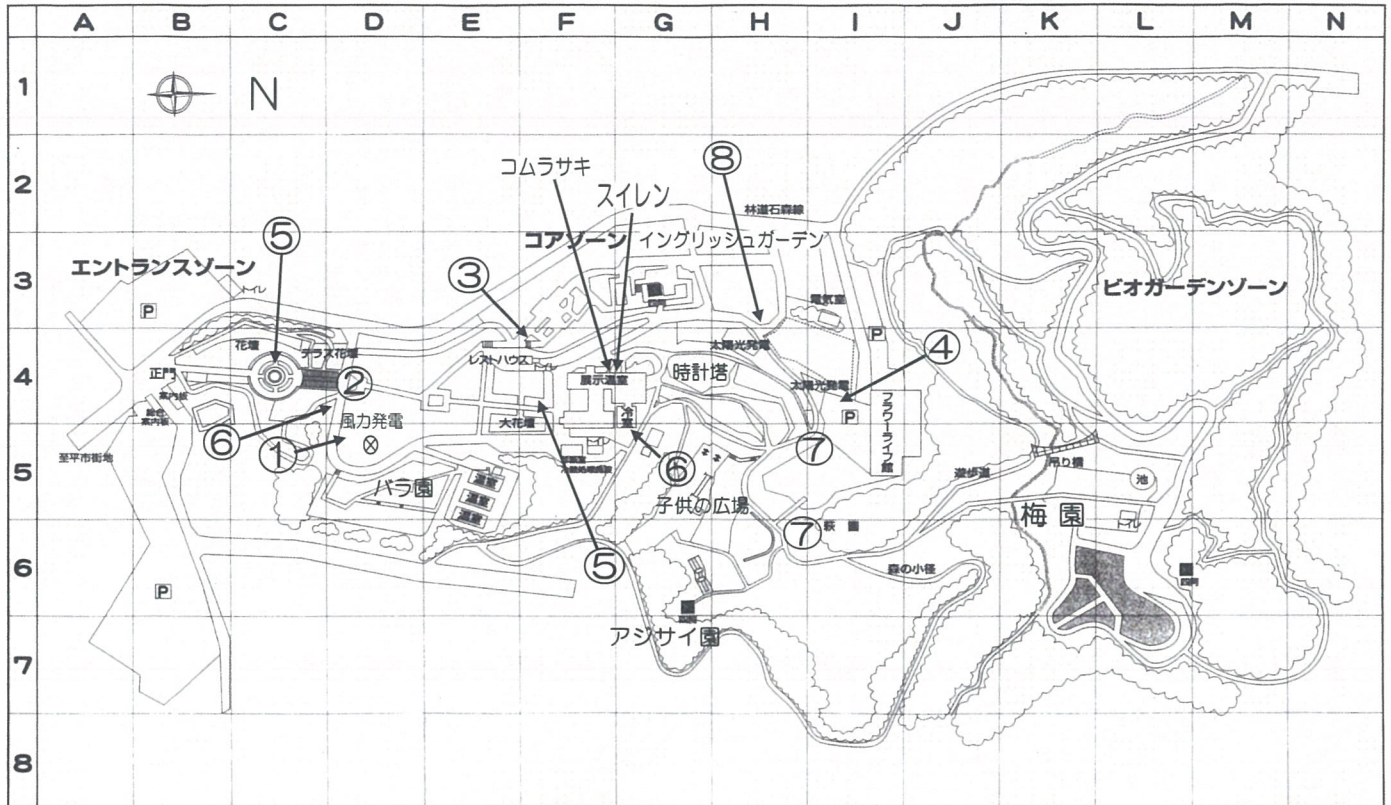


フラワーセンター【9月の花】

2021年度 9月22日更新

※園内の植物の盗難が相次いでいます 園内の植物は絶対にとらないでください。



①コキア (風力発電下)



ヒユ科 一年草 原産：アジア
夏になると茎に小花をびっしりと付けます。花には雄花と雌花があります。花びらはなく、淡緑色の萼があります。夏は爽やかなグリーン色の葉ですが、秋になると真っ赤に紅葉する姿が美しいです。

②ランタナ (正門から大階段を上げて正面の花壇)



クマツツラ科 常緑低木 原産：熱帯アメリカ・アフリカ
7~11月の高温期に小さな花を多数集めて傘状に咲かせます。花の色が橙から赤というように変化していくので、「七変化」の別名があります。開花期間が長く、丈夫なので、鉢物としてよく流通するほか、花壇などにも利用されます。

③キバナコスモス (レストハウスの西側花壇)



キク科 一年草 原産：メキシコ
原種は草丈1m以上になり、やや短日性ですが、園芸品種は草丈が低く、日長に関係なく開花します。性質が強くて放任でもよく咲き続けるので、コスモス同様に広い場所での景観づくりにも利用されています。

④コスモスソナタ (フラワーライフ館前駐車場付近)



キク科 一年草 原産：メキシコ
ソナタ系矮性種で、草丈の低いコンパクトサイズのかわいらしいコスモスです。花径約7cmの巨大輪で、ガッチリした草姿の濃赤紫、桃、白の混合色です。

⑤ベゴニア (大花壇他)



シュウカイドウ科 多年草(一年草扱い) 原産：熱帯、亜熱帯地域
多年草で中には多肉のな木質になる茎をもつ品種もあります。なかでも四季咲きベゴニアはベゴニア・センパフローレンスともいい、ブラジル原産のほぼ周年開花する品種を掛け合わせられた園芸品種群です。花色は白・ピンク・赤などがありハート形の花弁が愛らしく人気があります。

⑥マーガレットコスモス (冷室前・風力発電の南側)



キク科 多年草 原産：南アフリカ
マーガレットやユリオプスデージーに似た花を咲かせます。花が咲く時期が夏から冬に掛けてと、マーガレットやユリオプスデージーと違います。多年草で夏の暑さに強く、ある程度の耐寒性もあるので毎年花を咲かせることもできます。

⑦ミヤギノハギ (萩園・フラワーライフ館前駐車場付近)



マメ科 落葉低木 原産：日本
日本に自生するハギの種類は十数種あり、白い花をつけるシラハギ、葉が円形のマルバハギが知られています。また、仙台市の宮城野から名づけられたミヤギノハギは古来より有名です。普通のハギより上品で優雅で、紅紫色の花をつけます。

⑧サンシュユ (実) (イングリッシュガーデン東側)



ミズキ科 落葉小高木 原産：朝鮮半島
主な開花期は3月から4月上旬で、葉が芽吹く前に5mmほどの黄色い小花を枝いっぱいに咲かせます。サンシュユの名前は中国名の「山茱萸」を音読みにしたものです。茱萸はグミのことを指し、その通り形・色・大きさなどグミに似た楕円形で光沢のある果実を付けます。